

殿下地区



殿下地区は、福井市の西部に位置しています。人口は390余人、戸数は160余戸の静かな山村です。多くの地域でも見られるように、近年は人口の減少が課題となっています。そんな中でも、殿下地区の住民は、それぞれに生

コロナ禍でも
健闘しています

生きとまちおこしにつながる活動に取り組んでおり、マスメディアにも取り上げられています。

さて、殿下地区社協の取り組みですが、令和3年8月には殿下小学校の子ども達と高齢者の交流会が行われ、様々なゲームを共に楽しみました。この交流会は毎年夏休みに合わせて開催しており、コロナ下でも内容を工夫しながら開催しています。

11月には地区の文化祭の中で福祉まつりが開催されました。ここでは地区社協活動の写真展示や、福祉に関するクイズなどの催しを行い、若い人からお年寄りまで来場した多くの方が楽しんでいました。

どちらのイベントも、参加した方から久しぶりに地域のみんなで集まる機会を喜ぶ声が、たくさん聞かれました。まだまだ今までもどおりの活動継続が難しい状況ですが、その中でも人と人が交流する機会を持てるよう、みんなで力を合わせながら健闘しています。

東郷地区

みんなでつながり、支えあう
心温かな福祉のまちづくり

東郷地区は、福井市の南東部に位置し自然と歴史に恵まれた地域です。特に東郷米や造り酒屋が有名です。また、地区の中心部を流れる川には、鯉が泳いで季節の花と共に風情豊かな町並みになっています。

一方、地区の周辺部では少子高齢化の進展が課題となっています。地区社協としての活動は、この2年間、新型コロナウイルス感染症予防のために活動が制限されてきました

が、民生委員や福祉委員を中心に、自治会型デイホームの継続実施やひとり暮らし高齢者への食事サービスを通じながら、コロナ下での見守り活動を実施しています。

こうした中、主に男性の交流を目的とした「シルバーメンズ料理教室」は、2年間一度も実施できなかったため、令和3年度はなんとか開催しようとして、「料理体験はするが、会食せず」に全て持ち帰りの条件をつけて、12月に「ふるさとの伝承料理づくり」、そして2月は「そば打ち体験教室」を実施しました。久しぶりの教室開催で、皆さん積極的に、楽しく和気あいあいと料理されていたのが印象的でした。

今後もこうした男性も楽しめる活動も増やしながら、地区のみんなさんが安全で安心して楽しく暮らせるまちづくりに向けて、地区スローガンの『みんなでつながり、支えあう心温かな福祉のまちづくり』を目指していきます。

